

GO FOR
KOG EI
北陸工芸の祭典

大瀧神社・岡太神社

鑑賞のルール

- ・作品には手を触れないでください。
- ・建物の内部や作品周辺での飲食はご遠慮ください。
- ・写真撮影は可能ですが、以下のルールをお守りください。
 1. 撮影する際には周囲のお客様の鑑賞にご配慮ください。
 2. フラッシュや三脚を用いた撮影はご遠慮ください。
 3. 屋外でのドローンを用いた撮影はご遠慮ください。
 4. 「#GOFORKOG EI」をつけてSNS投稿ください。

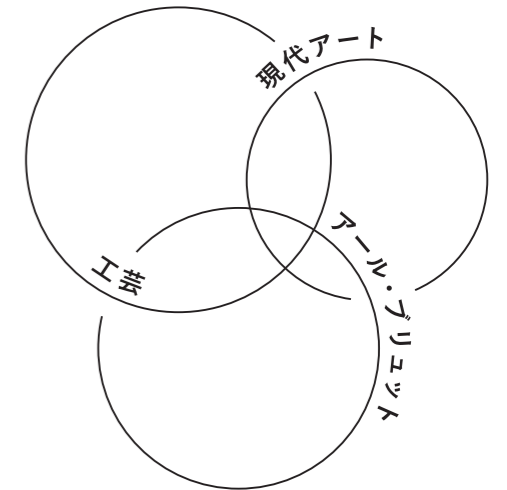
注意事項

上宮エリアに続くエリアは特に熊の出没の可能性があるので、お一人様での鑑賞や開場時間外の鑑賞は控えてください。対策グッズを貸し出しますので、自己責任において装備いただくようお願いいたします。

[特別展 I]

工芸的な美しさの行方 工芸、現代アート、アール・ブリュット

2021.9.10 (fri) — 10.24 (sun)



特別展I「工芸的な美しさの行方 工芸、現代アート、アール・ブリュット」では、2012年に金沢21世紀美術館において開催した「工芸未来派」展での現代アート化する工芸の動向をさらに発展させて、素材とその扱いにこだわった工芸、現代アート、アール・ブリュットの三者を紹介していきます。

他カテゴリーとの接近によって更新される工芸や、素材と技法という点から眺めたときに浮かび上がる現代アートやアール・ブリュット作品を、対立軸としてではなく、価値や方法を共有するものとして扱い、そして“素材と技法の関係”を「うまい」「下手」という価値観を越えた物と人との織り成す創造的な行為として捉え、新たな関係として三者を見ていきます。

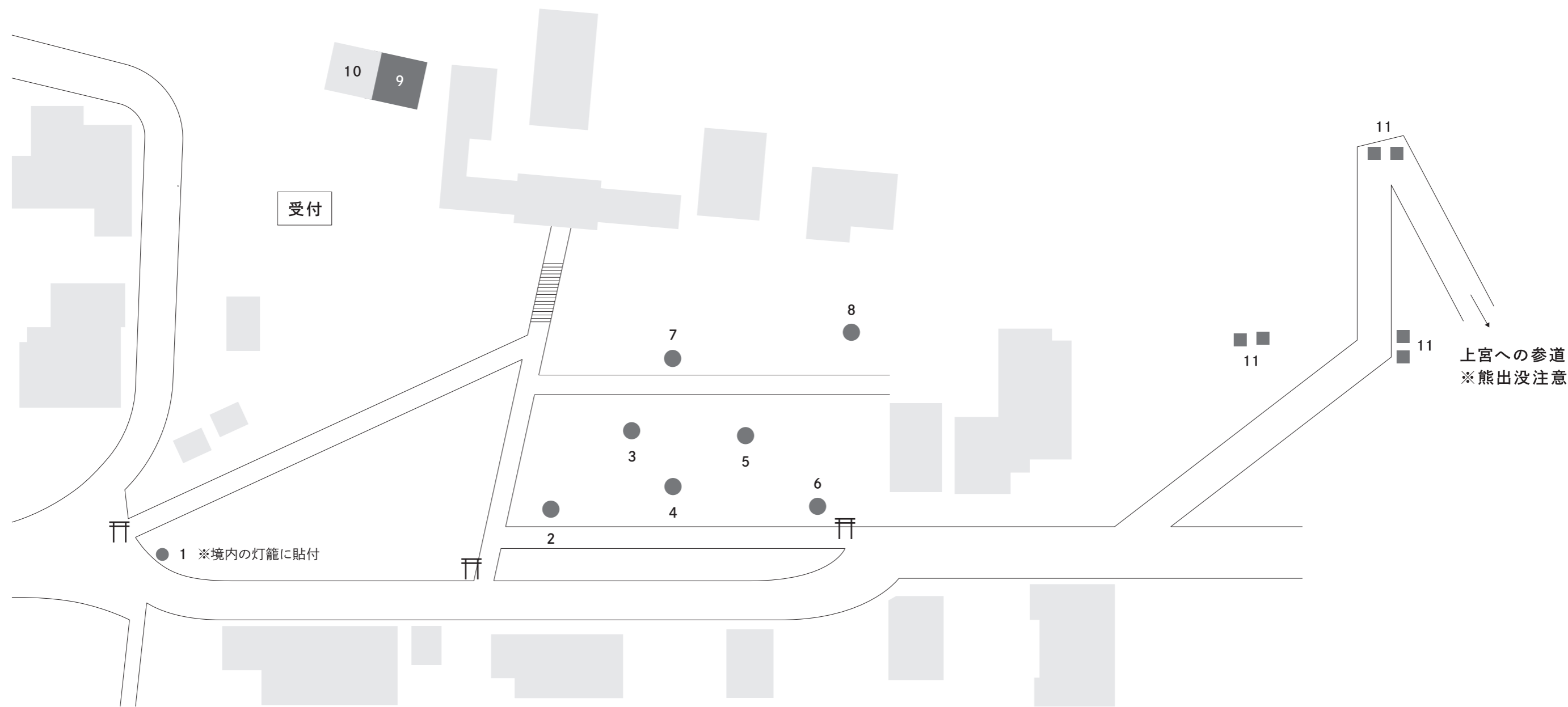
通常、工芸的価値のヒエラルキーでは最上位と考えられる高度な職人技術ですが、それだけを工芸の正当な価値として扱うのではなく、それと対立するような“反技術”や、子供の遊びのような“非技術”といったものを含めて、人と物の関わりが作り出す表現の可能性として紹介していきます。またそれは、工芸に限らない、広く「つくる」という作業の再評価でもあります。

会場となる勝興寺(富山県高岡市)、那谷寺(石川県小松市)、大瀧神社・岡太神社(福井県越前市)は、どれも文化財指定された歴史的建造物であり、その地の歴史や風土を見事に表現しています。そこに総勢20名の作家によるサイトスペシフィックな作品が展示されます。場所と作品の二者による生き生きとした空間が誕生することでしょう。

秋元 雄史

GO FOR KOGEI 特別展キュレーター

大瀧神社・岡太神社 FLOOR MAP



[1] 九代 岩野 市兵衛
越前生漉奉書
2021
和紙、木
※境内の灯籠に貼付

[2] 桑田 卓郎
Untitled
2021

[3] 桑田 卓郎
Untitled
2015
磁土、釉薬、鋼鉄
顔料

[4] 桑田 卓郎
Untitled
2016
磁土、釉薬、鋼鉄、
顔料、白金

[5] 桑田 卓郎
Untitled
2015
磁土、釉薬、鋼鉄、
顔料、ラッカー

[6] 桑田 卓郎
Untitled
磁土、釉薬、鋼鉄、
顔料

[7] 桑田 卓郎
Untitled
2021

[8] 桑田 卓郎
Untitled
2015
磁土、釉薬、顔料

[9] 牟田 陽日
渾々と
2021
磁器、ガラス、布、綿

[10] 牟田 陽日
Inner garden
2021
敷物

[11] 金重 有邦
伊部大柱
2021
山土

【凡例】

[No.] 作家名
作品タイトル
制作年
素材・技法
所蔵(特記なき場合作家蔵)